

2020年7月9日

SUBARU 日本ライフセービング協会に「ライフセーバーカー」を提供

SUBARUは、公益財団法人 日本ライフセービング協会（本部：東京都港区、代表：入谷拓哉理事長、以下「JLA」）が実施する「水辺の事故ゼロ」をめざす活動をサポートするため、「SUBARUライフセーバーカー」を提供します。

JLAは、普段から「水辺の事故ゼロ」に向けて、全国の海やプールなどの水辺の事故防止・人命救助等の活動に取り組んでいます。今夏は新型コロナウイルス感染症の影響により、海水浴場の開設が見送りになる地域もありますが、JLAはそれら海水浴場が開設されていない海岸でも、「水辺の事故ゼロ」をめざして活動します。

今回SUBARUが提供する「SUBARUライフセーバーカー」（フォレスターなど計12台*1）は、2020年7月から8月の間、神奈川県・千葉県・静岡県の海水浴場が開設されていない海岸で、レスキューボード・AED・救急箱などの救助機材を積み込んだ移動可能なライフセーバーの本部として使用されるほか、救護用水上バイクの牽引や緊急時の救護所などの様々な用途で使用される予定です。

そして、2020年7月8日にSUBARU本社（東京都渋谷区）において「車両引き渡し式」を開催し、常務執行役員の佐藤洋一より、JLAの入谷拓哉理事長へ、キーが手渡されました。

SUBARUは、JLAの「水辺の事故ゼロ」をめざす活動への協力を通じて、海の安全に貢献していきます。

*1：株式会社SUBARUより11台、神奈川スバル株式会社（代表取締役社長：鈴木泰介）より1台提供

【ご参考】

日本ライフセービング協会ホームページ <https://jla-lifesaving.or.jp/>



車両引き渡し式



「SUBARUライフセーバーカー」